

特定非営利活動法人 APLA

2017 年度事業報告



2016年10月から1年に渡って実施してきた、ネグロス・東ティモール・ラオスの3カ国若手農民交流。10年前にAPLAが動き出した時には、アジアの農民たちが交流できるようになったらうれしいと思い描いていたことが実現！この10年間、地域づくりの一環として、特にネグロスと東ティモールでは、これからの地域を引っ張っていくリーダーとして農村の若者たちの育成に取り組んできました。そのなかで出会った若者たち同士が交流するに至ったのです。そこに新しく出会ったラオスの若者たちが加わり、輪が広がりました。

APLA設立の議論の時に出てきた合言葉があります。「サンゴ礁の海が満ちる時、ポコポコとできる小さな水たまりが大きくなり、つながり、やがて海になるというイメージからきた言葉、「ポコポコ」です。その実現の一端をこの交流が担い、APLAの仲間たち、小さな水たまり同士がつながりました。これからも、つながりをもっと太くし、新しい輪も加わって、誰もが地域で生きられ、持続可能な世界を、小さくとも着実に作っていきます。

また、17年度を通して、この10年の振り返りとこれからの10年について議論してきました。刻々と時代が変わり、そのスピードも加速するような感覚がありますが、そうしたなかでも、具体的に顔の見える人たちと、JCNCから引き継いだ精神を大切に育てながら、活動を継続していきたいと思っています。

◆海外支援事業

フィリピン・ネグロス

フィリピン・ネグロス島のカネシゲファーム・ルーラルキャンパス（以下 KF-RC）の自立運営をサポートしながら、KF-RC を軸に次世代の農民を育て、地域に循環型有機農業を普及していく活動を進めました。

【実施した活動】

①KF-RC での新たな試み：

KF-RC の自立に向け、農場計画、会計管理、マーケティングなどのサポートをしてきました。農場の部分では、この間課題となっているマーケティングの開拓に向けて、豚肉加工（燻製）の研修を実施しました。燻製という加工方法に初めて触れ、常温で長時間保存できる技術を学びました。また、BMW 技術協会の協力のもと、バイオガス発電の実験をおこないました。発電機は小型、かつ付属部品も含め多くはネグロス島で手に入るものです。仕組みさえ理解できれば、現地の人たちだけで農村部にも設置できると期待しています。



KF-RC 卒業生たちが集まって現状を共有



豚肉加工の研修



バイオガス発電の実験

②卒業生のフォローアップ：

KF-RC スタッフと一緒に、定期的に卒業生を訪問しています。2～3 ヶ月に 1 度、卒業生の畑を訪問して、成果や課題を話し合い、卒業生が地域で孤立し、挫折しないようにフォローアップしました。12 月にはこれまでの全卒業生に声をかけ、現在の状況や抱えている課題を皆で共有する場をつくりました。卒業後、乾季に水がなく困っている卒業生、卒業生基金の貸付金を返済できていない卒業生、豚が死んでしまうなど養豚の方法で悩んでいる卒業生など様々です。今後も、それぞれの卒業生の事情を鑑みつつ、継続して彼らをフォローアップし、各地域で循環型農業が実践できるようにサポートしていきます。



第4期研修生のマイケル（左から4番目）と家族を訪問

※BMW 技術：微生物（バクテリア）とミネラルの働きをうまく利用し、土と水が生成される生態系のシステムを人工的に再現する技術のこと。BM 活性水は、この技術により作られる活性水。

東ティモール

エルメラ県のコーヒー産地において、作物の多様化による収入の安定化と自給率の向上、森林農業（果樹など）の導入、住民主体型の環境保全活動、若手リーダーの育成など、「コーヒーだけに頼らない地域づくり」をめざした様々な試みを続けてきました。特に、住民自身が自主的に活動を進めていけるような基盤づくりに力を入れた1年でした。

【実施した活動】

①循環型農業を軸にした地域づくり支援：



ラングーテンの苗づくり

コーヒー生産地での収入多様化や環境保全型農業等の活動への支援・フォローアップを継続しました。特に、4つ地域で苗の供給源となる場所を設置し、住民自身が管理・運営できるようになりました。

②環境教育・エディブル教育（学校菜園）の普及：

エルメラ県内の小学校への学校菜園普及のために、エルメラ郡とハトリア郡の2つの中央小学校で教員・生徒を対象にしたセミナーを開催しました。また、そのセミナーに参加した分校への道具の供与や技術的なフォローアップを実施しています。



パーマカルチャーの理念にもとづいた農園づくり



学校に植えるためのバナナの苗を持ってきた子どもたち

③若者育成：

若手リーダー3人が3カ国農民交流に参加するという機会を得たことで、これまで以上に成長を遂げました。

具体的には、フィリピン・ネグロスを訪問した後、「KF-RCのように自分たちに続く若者たちを育成する場所をつくりたい!」と、コーヒー生産地の若者たちを対象に、循環型農業の技術等を伝えるための一週間のセミナーを自分たちで企画・開催しました。



セミナーの参加者たち

フィリピン・北部ルソン

【実施した活動】

①遺伝子組み換えコーン栽培地域の状況のヒアリングを実施：

遺伝子組み換えコーン（BT コーン）栽培地域であるバランゴンバナナの産地（現在は出荷停止中）アルフォンソノリスタの農民の現在の状況について、生産者グループやコーディネーターとの話し合いを重ねました。現状では、とうもろこし栽培からの多様化プログラムなどを進める状況ではなく、引き続き様子をみていくことになりました。

②循環型農業推進のための技術サポート：

ヌエバ・ビスカヤ州マラビン渓谷で柑橘栽培をしているギルバート農園で、設置されている BM プラントのチェックと現地訪問をしました。

前述のギルバートさんが代表を務める NVAT（ヌエバ・ビスカヤ州青果物卸売市場）での BM プラント建設のサポートをしました。今後は、市場に生産物を売りに来た多くの生産者にプラントで製造される生物活性水を持ち帰り、地域で活用されるようにしていく計画があります。



ギルバートさん(左から2番目)と息子のボンさん(中央)

インドネシア

エコシュリンプの生産地である東ジャワ州シドアルジョでは、周辺地域の経済発展に伴い、水質環境の悪化が懸念されています。エビ生産者の生計維持や環境共生型のエビ養殖の将来を考え、地域の環境保全活動から一歩踏み込んで、地域の経済と環境が共に持続可能な形で発展していくための方法を模索しはじめている KOIN（エビ養殖農民とオルター・トレード・インドネシア社スタッフが立ち上げた NGO）の活動に協力しました。具体的には、シドアルジョのエビ養殖池に流れ込む 2 河川での水質調査（定点観測）、その調査結果を元にした県知事への働きかけなどが実施されています。



河川の水質調査活動

◆広報・出版事業

◎ 機関誌『ハリーナ』発行 (Vol.2.36号～39号発行)

2017年5月 36号 [特集] 子どもと食と未来のために～米国×日本 母親たちによる活動のクロストーク

2017年8月 37号 [特集] マスコバド糖 30周年。これまでとこれから

2017年11月 38号 [特集] 世界の潮流、小規模・家族農業を考える

2018年2月 39号 [特集] 3カ国若手農民交流を経て見えてきたこと

※ウェブサイトでバックナンバーを全ページご覧いただけます。

<https://www.apla.jp/archives/publications-cat/halina>

37号から全ページ
カラーになりました！



◎ PtoP NEWS vol.13～vol.24



※ウェブサイトでバックナンバーを全ページご覧いただけます。

<https://www.apla.jp/archives/publications-cat/ptop>

◎ イベント開催

【5月】エゴ・レモスさん Live&Talk：東ティモールで水源保全や学校菜園を共に実施する Permatil の代表で、ミュージシャン兼環境活動家のエゴ・レモスさんの来日に合わせ、音楽とトークで東ティモールを味わうイベントを開催しました。



参加者全員でデベ(東ティモールの伝統的な踊り)



熱唱するエゴさん



友産友消のススメ

【7月】^{ともさんともしょう}友産友消のススメ「夏の甘さの方程式」：マスコバド糖の民衆交易 30 周年を記念して、16 年度に開催した友産友消のイベントを開催。マスコバド糖の歴史と魅力について伝えるトークと合わせて、きまぐれや・吉田シェフが作るマスコバド糖を実験的に味わう料理を提供。

【8月】映画『バナナの逆襲』＆「日本に届くバナナの今」を知るスペシャルトーク！：映画『バナナの逆襲』を上映し、フィリピンバナナの調査をしているイエール大学の大学院生アリッサ・パレデスさんのお話を聞きました。

【10月】チキンカレーをほぼイチからつくる：自給農園ミルパ（千葉県成田市）にて、野菜を収穫し、飼われていた鶏をさばき、みんなでカレーを作っていたくイベントを開催。大人・子ども合わせて 111 人が集まりました。お坊さんによる「命への感謝」の話から始まり、料理をして、「命をいただく」ことと向き合う企画となりました。



『バナナの逆襲』上映会



チキンカレーをほぼイチからつくる

◆交流事業

◎ 3 カ国の若手農民交流

20116 年度からの継続で、東ティモール・ラオス・フィリピンの 3 カ国の若手農民交流のプロジェクトを実施し、4 月には、フィリピンとラオスから東ティモールを訪問、9 月にはフィリピンと東ティモールからラオスを訪問しました。継続的な交流・学び合いを経て、参加者一人ひとりの中に生まれた自信や活動への動機を今後も後押ししていきたいと考えています。



東ティモールで学校菜園を見学

プロジェクト終了後には、報告を兼ねたシンポジウムの開催、報告書（4 カ国語併記）および動画（英語＋日本語字幕）を作成し、数値では成果が計りづらい「交流」の意義・力について積極的に発信することができました。

◎ 二本松有機農業研究会・パネルサポート応援

二本松有機農業研究会のソーラーシェアリングの設置を実現するための資金集めとつながり作りのために16年度9月から始めた「パネルサポーター」の呼びかけを継続しました。「農民発電」カカオクッキーも継続して販売。

また、原発事故から7年が経過し、再生可能エネルギーの普及の実態を学ぶため、2018年1月『再生可能エネルギーが地域を豊かにする』と題して、ドキュメンタリー映画『日本と再生』のダイジェスト版上映と飯田哲也さんのトーク、二本松有機農業研究会の現場からの報告を聞くイベントを企画しました。2月には、ドイツの脱原発倫理委員会のメンバーであったミランダ・シュラーズさんの来日に合わせ、二本松有機農業研究会はじめ、福島で再生可能エネルギーを実践する皆さんとの懇談会を郡山市で開催しました。



ミランダ・シュラーズさんを囲んで

<パネルサポート応援実績>

	パネルサポーター	募金	APLA 手数料	二本松へ送金 サポーター&募金合計
16年度	828,500円 (40名、パネル118枚分)	6,268円	24,288円	810,480円
17年度	308,000円 (14名、パネル44枚分)	3,223円	8,866円	302,357円
合計	1,136,500円 (54名、パネル162枚分)	9,491円	33,154円	1,112,837円

※ 2017年度カカオクッキー販売からの募金：714袋売上×200円＝142,800円（20枚）も別途送金予定。

◎ BMW 技術協会

山梨で開催された全国交流会（2017年11月）、若手幹事会（12月）、第16回基礎セミナー（2018年2月）に参加しました。BMW技術について学び、日本全国の生産者と交流をしました。

◎ 「ホンモノの手作りチョコレート」ワークショップ

6シーズン目となった今年度は、一般向け5カ所（うち3カ所が野外での簡易版）、グリーンコープ1カ所（fromネグロスセミナーの一環）、パルシステム（東京と埼玉の地区委員会10カ所）、学校1カ所、計330名ほどの参加者がありました。

学校については、開発教育協会（DEAR）の紹介で、視覚障害者を対象にしたワークショップ（筑波大付属視覚特別支援学校の高校3年生）を初めて実施しました。



パルシステム東京・北A委員会でのワークショップ

◎ グリーンコープ青少年ネグロス体験ツアー

2017 年 7 月 22 日～7 月 29 日、日本人高校生 9 名、ネグロスの若者 11 名がネグロスで交流する青少年ツアーが実施され、バランゴンバナナ産地での民泊や、様々なワークショップを通じて友情を深めました。西ネグロス州レコレトス大学では日本とネグロスの文化や民衆交易の劇と歌を披露。参加者の団結力が強く、短時間で素敵な劇ができあがりました。



参加者全員で記念撮影

また、今回は長年ファシリテーターを務めているラリー氏の体調不良や、フィリピン・ミンダナオ島で戒厳令がしかれたことによるツアーの安全面の懸念など、予定外の事前調整が多くありましたが、ネグロス側で最善の準備をし、雰囲気よく受け入れてくれ、素晴らしいツアーとなりました。

◆緊急救援事業

◎ 福島の子どもたちに届けよう、バナナ募金

2011 年 3 月福島第一原発の事故後、子どもたちが少しでも安心・安全な食べものが食べられるようにと福島の保育園・幼稚園に農薬を使わずに栽培されているバランゴンバナナを定期的を送る活動を継続しています。

今年度は福島市、南相馬市のバナナお届け先の 3 園を訪問しました。今通っているのは震災後に生まれた子どもたちであり、時間が過ぎる速さを感じました。各園で外遊びができるようになったり、給食に県内産の食品を使用するかの検討が始まったりしている一方で、子どもたちには運動機能やメンタル面が幼かったりするなどの発育面での影響が出ているという話を聞きました。一見震災前に戻ったかのように見えても、震災や原発事故の爪痕が現在も残っています。こうした福島の現状を忘れず、伝えていけるように、今後もつながり続けていきたいと考えています。



7 月に訪問した福島市のわかば幼稚園にて

◆2018 年 3 月時点の発送先：いわき 2 件、福島 11 件、郡山 1 件、南相馬市 1 件、相馬市 1 件（計 16 件）

◆募金額：365,099 円

◆バナナ発送金額・重量：454,572 円／1,057 kg

◆フェアトレード事業

生産者と消費者を結ぶ民衆交易品のオンラインショップやイベントでの販売を通じて人、モノ、コトを双方につなげ共に支え合える関係づくりをめざしています。

◎オンラインショップでの通信販売

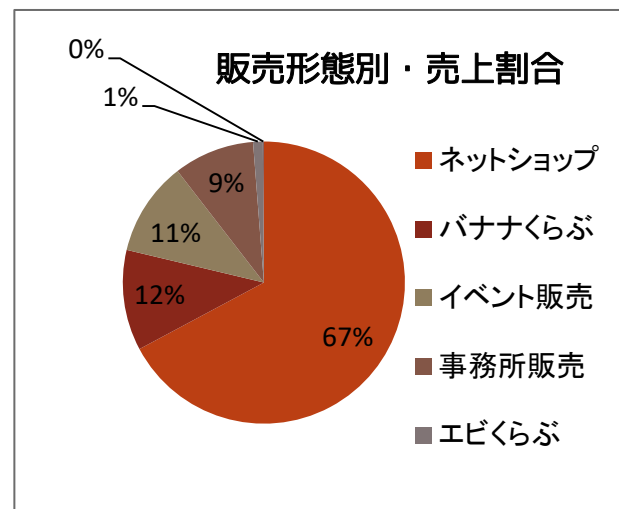
秋冬シーズンの目玉である「パラダイスパプア クラフトチョコレート」は、昨年早々に在庫がなくなってしまう、購入できなかったお客様もいましたが、今年度は現地でたくさん製造ができたため、多くの方にお届けすることが出来ました。近年カカオ熱が高まりをみせていますが、これをきっかけにして、チョコレートをはじめとしたパプアのカカオをより多くの人に広められました。

◎各イベントに出店

イベント出店回数 45 回。今年度も精力的に出店しました。顔と顔を合わせて民衆交易の魅力を直に伝えられる貴重な機会となっています。

◎PtoP カフェ

キッチンカーを使って、コーヒー等ドリンクの販売をしています。主には、毎月 1 回、代々木公園で開催されているアースデイマーケットに出店しています。



2017 年度は、マスコバド糖 30 周年を記念した特製ドリンクメニューを学生インターンが開発し、30 周年を盛り上げてくれました。運営はまだまだ試行錯誤中ですが、インターンの活躍で民衆交易品の魅力を知ってもらえる場づくりが改良されてきています。

◆月別売上グラフ



◆事務局報告

■ 他団体とのネットワーク

- ・ アーユス仏教国際協力ネットワーク、日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）、オルター・トレード・ジャパン（ATJ）、とともに福島でつながった人びとを応援する活動、そのための「カカオクッキーwa/農民発電」の販売を継続しています。
- ・ チョコレート・アライアンス
- ・ 東ティモール・フェスタ実行委員会
- ・ NGO 非戦ネット
- ・ 辺野古・高江を守ろう！NGO ネットワーク

■ 2017 年度の賛同・協賛

- ・ 共同声明：市民社会を抑圧する「共謀罪」法案に反対
- ・ 経済連携協定に係る情報公開要求
- ・ パレスチナ自治区における行政拘禁制度の廃止ならびに被拘禁者の即時釈放に関する嘆願書
- ・ 第9期沖縄意見広告運動
- ・ 小規模・家族農業ネットワーク（SFFNJ）

■ 会員・サポーター報告 2018 年 3 月 31 日時点

	個人	団体	合計
正会員	104	36	140
賛助会員	90	14	104
マンスリーサポーター	8	-	8
APLA サポーター	2	-	2
合計	204	50	254

※ マンスリーサポーター、APLA サポーターの制度は 2017 年度からスタートしました。

■ 組織体制

理 事：秋山真兄（共同代表） 疋田美津子（共同代表） 吉澤真満子（事務局長） 市橋秀夫 上田誠
鹿毛優子 廣瀬康代 堀芳枝 箕曲在弘（以上 9 名）

監 事：近藤康男

評 議 員：赤松結希 秋山澄兄 安藤丈将 大野和興 大橋成子 近藤恵 出口雅子 橋本順子（以上 8 名）

顧問：弘田しずえ、前島宗甫

事務局員：吉澤真満子（事務局長） 野川未央（専従） 大久保ふみ（専従） 寺田俊（専従） 坂野亜希子（アルバイト）
飯田華代（アルバイト）

■ 総会・理事会・評議員会

総 会：第 10 回総会（2017 年 6 月 3 日）

理 事 会：第 30 回（2017 年 9 月 30 日）、第 31 回（2018 年 2 月 24 日）、第 32 回（2018 年 4 月 14 日）

評議員会：第 21 回（2016 年 9 月 30 日）、第 22 回（2017 年 2 月 24 日）、第 23 回（2018 年 4 月 14 日）

◆カレンダー

《4月》

- 3-9 3カ国若手農民交流@東ティモール
- 10-13 東ティモール出張
- 10-13 フィリピン出張
- 15 理事会開催
- 22・23 アースデイ東京 2017 に出店



《5月》

- 14 ISOGO ワールドパークに出店
- 15 立教大学で授業
- 19 エゴ・レモスさんと多摩市立愛和小学校を訪問
- 20 東ティモール・フェスタ 2017 に参加
- 20 日消連主催シンポジウム「土に生きる」に登壇
- 22 APLA presents エゴ・レモス Talk&Live 開催
- 26 獨協大学で授業
- 27 ロータス寺市に出店
- 28 東京朝市・アースデイマーケットに出店

《6月》

- 3 第10回総会開催
- 11 東京朝市・アースデイマーケットに出店
- 17 100万人のキャンドルナイト 2017@増上寺に出店
- 18-7/6 フィリピン出張
- 23 日本農業経営大学校で授業
- 28-7/12 東ティモール出張

《7月》

- 1 長野県上田高等学校で講演
- 11 友産友消のススめ「夏の甘さの方程式」を開催
- 12 コーヒー講座@パルシステム埼玉（蓮田・伊奈・白岡）
- 15 目白大学国際交流研究家第3回公開講演会に登壇
- 16 東京朝市・アースデイマーケットに出店
- 22 グリーンコープ「青少年ネグロス体験ツアー」開催

《8月》

- 2 佼成学園女子高等学校で授業
- 5 カカオ WS@日本アセアンセンター「ASEAN キッズ・デー」
- 5 草の根市民基金・ぐらん「草の根交流集会」に参加
- 5-14 東ティモール出張
- 20 「ひのでマルシェ」に出店
- 27 映画『バナナの逆襲』&「日本に届くバナナの今」を知るスペシャルトーク！開催

《9月》

- 2 パルシステム東京「ピースフェス」に出店
- 2-28 フィリピン出張（途中ラオスに訪問）
- 10-15 3カ国若手農民交流@ラオス
- 16-19 JVC 主催の「フード・セキュリティを考えるタイ・ツアー」に参加
- 21-26 山のハム工房・ゴーバルのスタッフ2名がネグロス訪問
- 30 理事会・評議員会開催



《10月》

- 1 カカオ WS@ヴィーガーデン西東京
- 4 カカオ WS@パルシステム東京（羽村東）
- 8 「チキンカレーをほぼイチから作る」開催
- 18-19 グリーンコープ単協分散講演会に参加
- 23 トヨタ財団主催「2017 年度国際助成プログラム助成金贈呈式シンポジウム」にて報告
- 27 パルシステム埼玉平和団体交流会に参加
- 27 日蓮宗「いのり題目の日」に出店
- 28-29 ラブファーマーズ・フェスティバルに出店

《11月》

- 4 八王子市・日々器で開催された青空レストランに参加
- 12 幸せの経済国際フォーラム 2017・2 日目に開催された、「ローカリゼーション映画祭」と「分科会・農と食のローカリゼーション」に参加
- 14 カカオ WS@グリーンコープおかやま
- 15 グリーンコープ（島根）で開催された「fromネグロスセミナー」で講師を担当
- 23 「ひのでマルシェ」に出店
- 23-24 BMW 技術全国交流会に参加
- 24 カカオ WS@パルシステム東京（北A）
- 25 日本大学三島高等学校でコーヒー講座開催
- 26 三島グローバルフェスタに出店
- 26 東京朝市アースデイマーケットに出店
- 29-12/13 フィリピン出張
- 30 カカオ WS@パルシステム埼玉（環境委員会）
- 30 パレワゴン・パレキッチン「フェアトレードランチ & マルシェ」にATJと参加

《12月》

- 3 第10回国際有機農業映画祭に出店
- 7 カカオ WS@パルシステム埼玉（蕨）
- 11 カカオ WS@パルシステム東京（鹿骨）
- 15 「Earth to Bar 南米エクアドル・森を育むカカオのお話〜生物多様性からのメッセージ」に参加
- 16 「学びあいが生み出す農家の未来」を東洋大学アジア文化研究所と共催
- 17 「小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン 設立発表会&映画上映&トーク」に参加
- 17 東京朝市アースデイマーケットに出店

《1月》

- 7-14 東ティモール出張
- 14 カカオ WS@パルシステム埼玉（越谷）
- 17 筑波大付属視覚特別支援学校で「ホンモノの手作りチョコレート」の授業
- 19-20 新宿区消費生活展に参加
- 24-2/15 フィリピン出張

- 27 「再生可能エネルギーが地域を豊かにする〜福島の実験から〜」をアーユス仏教国際協力ネットワークと JIM-NET と共催
- 27 二本松有機農業研究会ノーラーシェアリング・パネルサポーター交流会を開催
- 28 東京朝市アースデイマーケットに出店

《2月》

- 2-3 豆マルシェ出店&カカオワークショップ開催
- 2-14 ショコラ Z a k k a フェスティバルに出店
- 6 学芸大学附属高等学校・校外実習で授業
- 7 カカオ WS@パルシステム埼玉（所沢）
- 7
- 9 千代田区立九段中等教育学校で授業
- 10 カカオ WS@WE21 相模原
- 13 カカオ WS@パルシステム東京（狛江）
- 22-23 第16回BMW 基礎セミナーに参加
- 24 理事会・評議員会開催
- 26 「脱原発を決めたドイツと福島について語り合う with ミランダ・シュラーズさん」をアーユス仏教国際協力ネットワーク、JIM-NET と共催で開催

《3月》

- 4 大地を守る会オーガニックフェスタにチョコレート・アライアンスのメンバーとして参加
- 4 東京朝市アースデイマーケットに出店
- 6 カカオ WS@パルシステム東京（東村山）
- 10-22 東ティモール、インドネシア出張
- 11 アーユス主催「311 バザー & 思いを馳せるつどい」に出店
- 12 鎌倉学園で授業
- 16 パルシステム埼玉平和募金贈呈式に参加
- 16 全国消費者大会・分科会「食のことから見えるエシカル〜カフェで語ろう」に参加
- 17-18 コピス吉祥寺マルシェに出店

※「ホンモノの手作りチョコレートワークショップ」
＝カカオ WS として表記